





























野村家住宅

(天保六年・一八三五)

この町家は、間口四間半のほぼ中央を通り庭として、いることに特徴があります。主要な部屋を右手に並べ、左にはシモミセとその裏手に二室を設けています。

二階の表は登り梁を用いたツシ二階で、当初の形を残しています。中程から裏手へは、部屋を造るために屋根を改造して天井を高くしています。

この建物は年代が明らかなで、文化財としての価値の高い町家のひとつです。



断面図



全階平面図

野村町家（現・野村家住宅）





童謡の里





